

平成26年度の文部科学省委託事業を受託しました！

「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」～保育分野
子育て支援のボトルネック＝保育士不足を三幸学園グループが総力をあげて解決します

東京未来大学、小田原短期大学、こども専門学校といった保育士・幼稚園教諭の養成機関を全国29拠点、保育の運営施設31園運営している学校法人三幸学園（本社：東京都文京区）は、文部科学省の平成26年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業」を受託しましたことをご報告申し上げます。

<事業の概要>

本事業は、専修学校、大学、大学院、短期大学、高等専門学校、高等学校等と産業界等が産学官コンソーシアムを組織し、その下で具体的な職域プロジェクトを展開し、協働して、社会人、女性、生徒・学生の就労、キャリアアップ、キャリア転換に必要な実践的な知識・技術・技能を身につけるための教育カリキュラム等を開発・実証するものです。本事業により、成長分野等における中核的専門人材や高度人材の養成を図るとともに、特に、社会人や女性の学び直しを全国的に推進します。

<受託の背景>

待機児童解消加速化プランにより、保育の量拡大を図る中、平成29年度末には保育士が約7.4万人不足することが見込まれており、保育を支える保育士の確保が重要とされている。また、現状の保育士求人状況をみても、ハローワークにおける有効求人倍率は1倍を超過する状況にあり、保育士の確保は喫緊の課題と言える。政府も子育て支援案をまとめて、取り組みを加速させる方針を出しており、今後、「人材の確保（人材育成、就業継続、再就職、働く職場の環境改善）」、「人材確保を支える取り組み」、「保育士資格保持者と事業者のマッチング強化」といった取り組みが見込まれている。

三幸学園グループは、大学、短大、専門学校において、保育士養成や保育プログラムの研究・開発分野に力を入れてきており、社会問題となっている「保育士不足の解消」を実現させるべく、このたびの事業受託となりました。

<実施すること>

潜在保育士は60万人以上とも言われており、様々な理由によって保育業界で就労していない事実があります。こうした潜在保育士の掘り起こし、研修プログラムの開発・実施・検証、再就職サポート、キャリアサポートといった取り組みを実施していきます。詳細は2枚目以降のパワーポイントスライドを参照下さい。

■本件に関するお問い合わせ先■

・学校法人三幸学園 メディア担当 西條 康介

TEL：03-6672-9485、FAX：03-5840-8617、携帯：090-9905-3038

「保育士不足の解消」を、三幸学園グループが保有する施設・ノウハウを最大限に活かして実現させる。保育事業者のニーズ、社会（保護者）ニーズを踏まえた教育プログラムの開発→実施→検証を行うこととともに、潜在資格者の発掘・啓蒙、女性のキャリアアップ・キャリア転換に必要なノウハウ（コミュニティ、学習環境、就職サポート）を構築し、社会問題の解決にも寄与する。

<実施団体 学校法人三幸学園>



○学び直し教育プログラムI
～座学編
協力機関：
東京未来大、小田原短大

- ・保育の現状理解
- ・保育スキル向上
- ・保育創造力向上
- ・子ども心理カウンセラー資格

○学び直し教育プログラムII
～実践編
協力機関：
ぼけつとらぼ、キッズ大陸

- ・職務体験、実践プログラム研修
- ・ビジョンMTG参加

～目指すもの～

- ①社会ニーズ・保育事業者ニーズに合致した人材の育成
- ②中核的専門人材の育成
- ③社会人のキャリアサポート
- ④女性の活躍サポート



提案

三幸学園グループの拠点やノウハウを最大限活用したプラン

平成29年度

保育士需要

46.0万人

保育士供給

- 38.6万人

結果

= 約7.4万人

不足!

<出典>H21年度保育士の需要等に関する調査研究報告書

現状

1 資格保持者の約30%が、勤務経験がないのに保育士としての就業を希望しない

2 資格保持者の約25%が、プランクがあくことで就業(再就業)への不安がある

3 就業(再就業)を希望しない理由が解消された場合、63.6%とおよそ3分の2は保育士を希望する

<出典>「保育士資格を有しながら、保育士として就職を希望しない求職」に対する意識調査の結果」(厚生労働省)

対策

フェーズ1 東京都・神奈川県にてトライアル!

保育士資格取得者
→保育士供給の母集団
*研修・再就職(転職)支援、卒業生向けオンライン講座

保育士供給の母集団形成

養成校卒業生の就職先

→各種協力要請
*ニーズの吸い上げ、研修・再就職(転職)支援、クローズド講座

東京地区	保育士取得者(卒業生)	就職先(保育事業者)
東京未来大学	400	350
東京医療	250	200
東京リポート	400	200
東京こども	375	300
合計	1,425	1,050
横浜地区		
小田原短期大学	7000	230
横浜医療	50	30
横浜リポート	50	30
横浜こども	700	500
合計	7800	790
総合計	9,225	1,840

フェーズ2

東京都・神奈川県において他教育機関を巻き込み規模を拡大した取り組み

フェーズ3

全国主要都市にて、フェーズ1、フェーズ2の手順で同様の取り組み

課題解決

今回のプロジェクトの運営体制

